



ICDAホールディングス

(証券コード3184 東証JASDAQ・名証第二部)

2013年12月5日

2014年3月期 第2四半期 決算説明会

ICDAホールディングス株式会社



社名	ICDAホールディングス株式会社
証券コード	3184
上場市場	東証 JASDAQ(スタンダード) 名証 第二部
設立	平成21年10月1日
資本金	1,161百万円(平成25年9月末現在)
売上高	23,278百万円(平成25年3月期)
経常利益	595百万円(平成25年3月期)
従業員数	367名(正社員:平成25年9月末現在)
本社所在地	三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

ICDAグループ

自動車に関わる国際的流通複合企業体
International **C**onglomerate of **D**istribution for **A**utomobile

ICDAホールディングス(株)

自動車販売関連事業

- ・ 新車部門
- ・ 中古車部門
- ・ サービス部門

自動車リサイクル事業

(株)ホンダ四輪販売三重北

- ・ ホンダカーズ三重北
- ・ ホンダオートテラス
- ・ ヴァーサス
- ・ POINT⑤

(株)オートモール

- ・ フォルクスワーゲン
- ・ アウディ三重
- ・ ポルシェセンター鈴鹿
- ・ ヴァーサス
- ・ POINT⑤

(株)マーク・コーポレーション

- ・ 鈴鹿オートリサイクルセンター

【第2四半期のポイント】

1. 積極的な宣伝広告を実施
⇒販売台数増加
2. 中古車販売の利益率が伸長
3. 営業利益は356百万円(計画比17.2%増)

【営業環境について】

1. 自動車の保有台数については、緩やかな減少傾向
2. 自動車の乗換えサイクルの長期化
3. 新車需要については、ダウンサイジング傾向
⇒軽高登低(軽自動車の躍進)
4. 低年式車の保有の買換えが安定的に発生

2014年3月期 第2四半期連結累計期間 損益計算書

(単位:百万円)

	第2四半期	計画比	コメント
売上高	11,486	99.7%	
売上原価	9,209	98.7%	中古車仕入等のコスト管理徹底により低下
売上総利益	2,276	103.6%	
販売費及び一般管理費	1,919	101.6%	宣伝広告費が増加
営業利益	356	117.2%	売上原価のコスト管理効果により増加
経常利益	329	145.9%	固定資産除却損の計上時期のずれにより 経常利益・純利益が増加
四半期純利益	185	146.2%	

セグメント		販売高 (百万円)	構成比 (%)
自動車販売関連事業	新車部門(国産車)	4,303	37.5
	新車部門(輸入車)	1,687	14.7
	中古車部門	3,784	32.9
	サービス部門	1,375	12.0
	合計	11,159	97.2
自動車リサイクル事業		326	2.8
合計		11,486	100.0

セグメント	第2四半期の営業環境
自動車販売関連事業	・アベノミクス効果による、個人消費の回復 ・環境対応車の発表により、燃費競争が加速 ・Nシリーズを中心とした新型軽自動車が堅調に推移 ・輸入車の新型車が堅調に推移  ・新車販売台数2,720台(前年同期比2.2%減) ・中古車販売台数4,639台(前年同期比9.6%増)
自動車リサイクル事業	・エコカー補助金効果の剥落により、在庫台数が減少 ・前年に確保した在庫により、処理台数は微増。  ・使用済自動車の在庫3,274台(前年同期比25.3%減) ・処理台数4,050台(前年同期比3.8%増)

【連結】第2四半期(累計)キャッシュ・フロー

単位:百万円

	2014年3月期 第2四半期累計	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	175	
税金等調整前四半期純利益	329	
減価償却費	287	
たな卸資産の増減額(△は増加)	△139	売上増に伴う在庫増加
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△491	
有形固定資産の取得によるキャッシュ・フロー	△470	新規出店に伴う投資
財務活動におけるキャッシュ・フロー	△137	
短期借入金の純増減額	△191	有利子負債の圧縮
長期借入金の返済による支出	△370	
株式の発行による収入	519	株式の売出しによる収入
配当金の支払額	△90	配当金の支払い
現金及び現金同等物の増減額	△453	
現金及び現金同等物の期首残高	1,583	
現金及び現金同等物の期末残高	1,130	

2014年3月期 第2四半期連結累計期間 貸借対照表

単位: 百万円

資産		負債・資本	
現金及び預金	1,317	流動負債	8,231
商品及び製品	3,047	固定負債	2,758
その他	305	負債合計	10,989
流動資産合計	4,992	資本金	1,161
有形固定資産	8,555	資本剰余金	1,148
無形固定資産	70	利益剰余金	1,039
固定資産合計	9,403	株主資本合計	3,349
資産合計	14,395	純資産合計	3,406
		負債純資産合計	14,395

2014年3月期 第2四半期 自己資本 3,366百万円
 2014年3月期 第2四半期 自己資本比率 23.4%

通期計画について

通期計画の前提

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想	増減率
売上高	23,278	25,494	9.5%
経常利益	595	867	45.6%
当期純利益	423	530	25.4%

セグメント			売上 (百万円)	計画の前提
自動車 販売関連事業	新車部門	国産車	9,597	ホンダの新車種発売 減税対象小型車等の発売
		輸入車	3,470	フォルクスワーゲン鈴鹿の新店舗効果
	中古車部門		7,587	POINT⑤の新規出店効果
	サービス部門		2,886	車検・法定(12か月)点検等の入庫促進
	自動車 リサイクル事業		619	国内新車販売増加による入庫の増加 グループホンダカーズ店の新車販売増加 グループ会社の新規出店
合計			25,494	

バリューチェーンビジネスの強化

1. 顧客接触活動の精度アップ
 - ・より極め細かな既納客への接触活動を強化・徹底
 - ・代替・車検・法定(12ヵ月)点検等の入庫促進を徹底
2. 人材育成・教育・研修の充実
3. 使用済車両の安定的確保

セグメント		施策
新車部門	国産車	N BOXを軸とした小型車の販売 フィット、N-WGN、オデッセイ等新機種の販売 残価設定クレジットを切り口とした代替え提案
	輸入車	アウディA3 VWポロ VWゴルフ } 販売強化
中古車部門		直販力の強化
サービス部門		車検・法定(12か月)点検等の入庫促進の強化 メンテナンスパックの販売強化
リサイクル		使用済自動車の安定的確保 国内販売、輸出販売の強化



(株)ホンダ四輪販売三重北

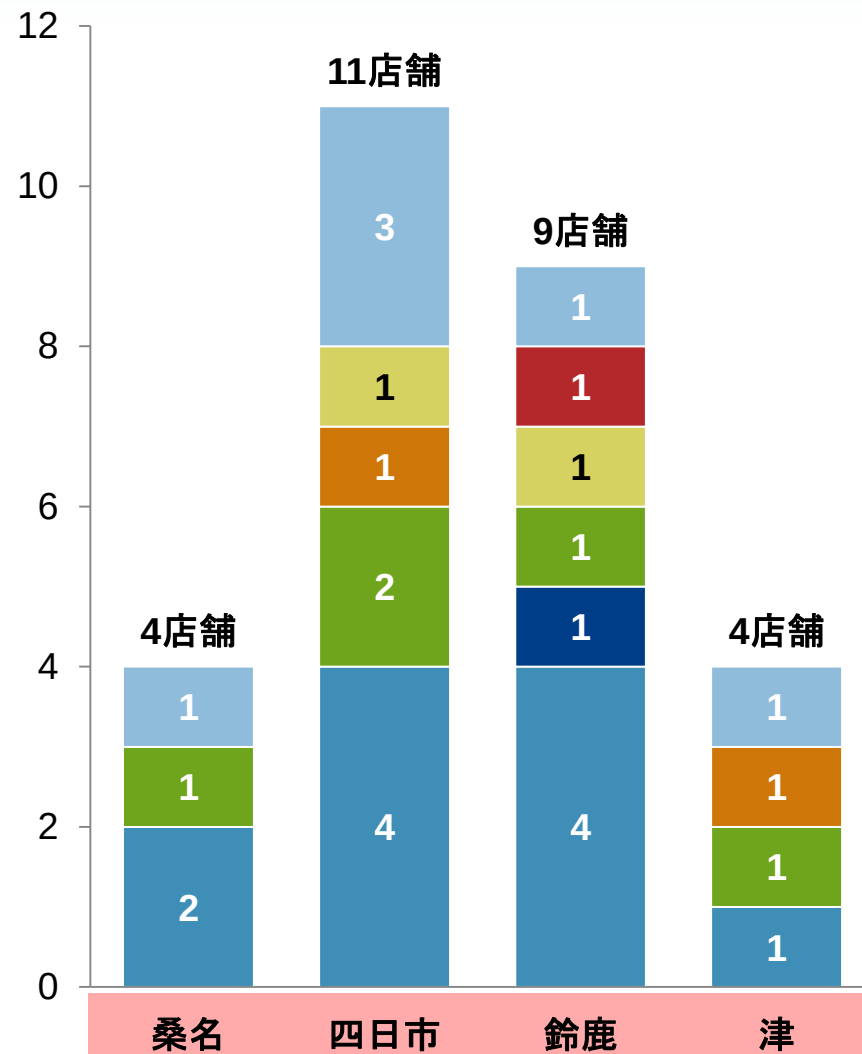
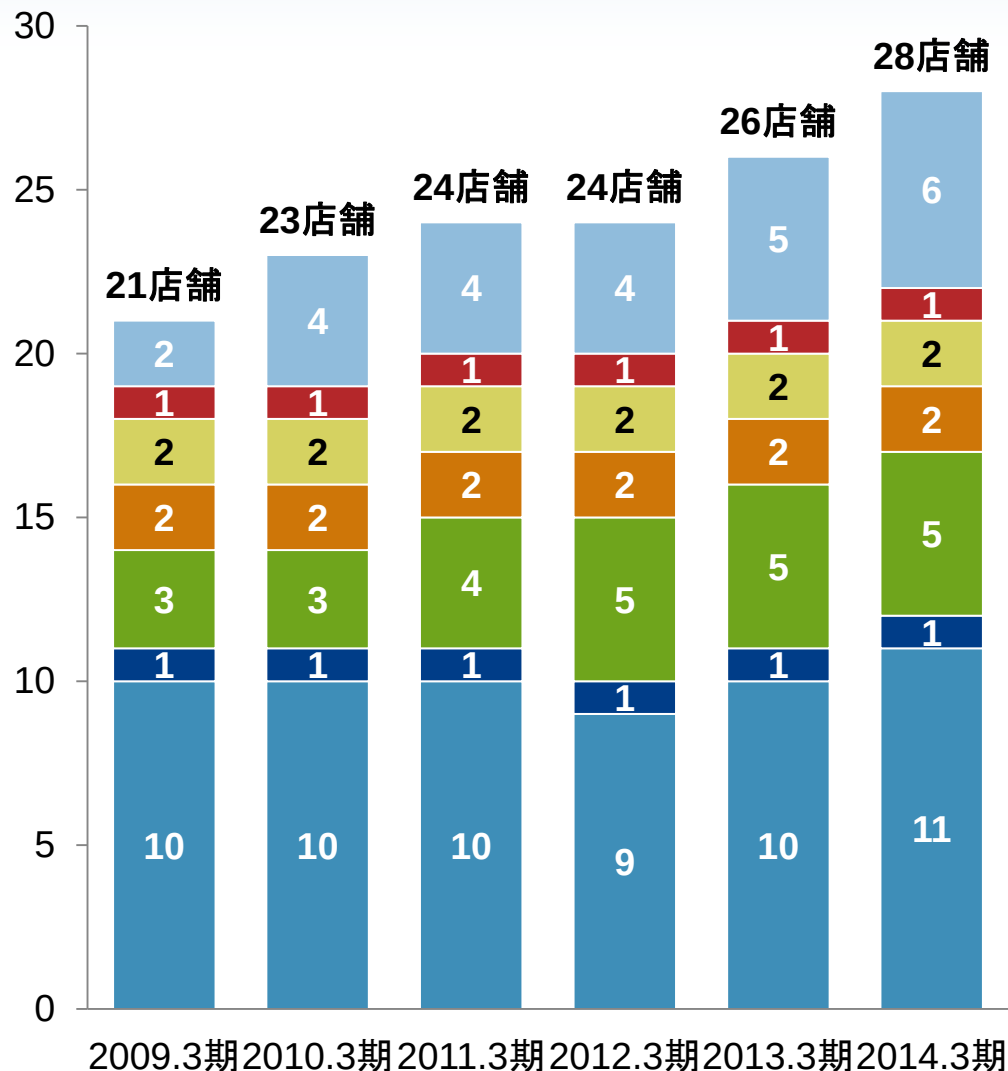
- 小規模併設型店舗出店
ホンダカーズ四日市松本店
(ホンダスマールストア・POINT⑤併設店)
※POINT⑤は四日市地区として3店舗目(全体で6店舗)

(株)オートモール

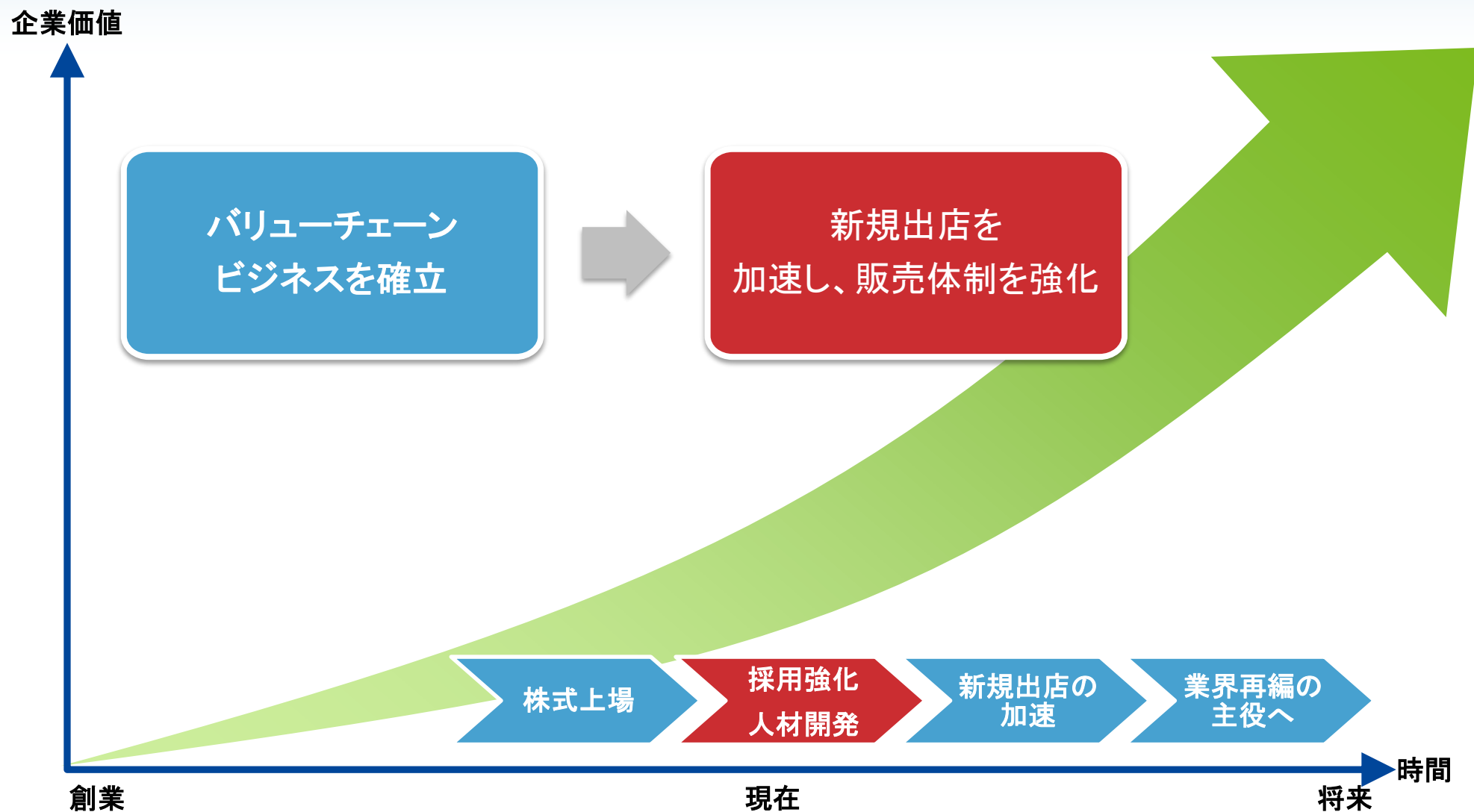
- アウディ三重四日市改装
(三重県内輸入車最大のショールーム)
- 鈴鹿市八野モータープール開発(約66,000m²)

出店状況(2014年3月期は予定)

POINT⑤ ポルシェ VW Audi ヴァーサス オートテラス ホンダカーズ



2014年3月末の出店状況(予定)



【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%を目安に安定配当を継続

2014年3月期 配当金予想

	配当性向	1株当たり配当金
2013.3期	39.1% (連結当期純利益の21.3%)	50円
2014.3期(予想)	70.6% (連結当期純利益の19.1%)	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 管理部総務課
TEL: (059) - 381 - 5540